

## 第3回研究会

平成18年7月18日(火)午後2時  
消防庁舎大会議室

### 主な内容

#### 江南市戦略計画(次期総合計画)基本構想に盛り込む協働の考え方について

研究会のまず最初の目標として、現在策定中の江南市戦略計画(次期総合計画)の基本構想に盛り込む「協働の基本的な考え方」について検討するという役割があります。

そのため、第1回研究会でワークショップを行い、第2回研究会で協働事例をもとに協働の理念、目的などについて議論しました。今回、もう少し議論をし、これらをまとめて研究会のこれまでの検討結果(考え方)として提出することとしました。

#### (委員の主な意見)

協働の目的の一つにある「行政コストの削減」「公共サービスの効率化」などは、行政の都合。市民、行政双方としては「公共サービスの充実」とすべき。

次世代の育成、次世代につなげていくということは、江南市の特徴的なものとして、どのような表現になるかはわからないが是非とも入れていきたいものである。

#### 研究会が目指す最終的な目標について、いろいろな意見が出されました。

研究会の役割は、まちづくりにおける協働のあり方を検討すること。今年度の目標は、協働でまちづくりを行っていくための「ルール」「指針」をまとめることです。

協働のあり方、仕組みの検討結果として最終的にどのようなものを目指すかという目標を明確にしておこうということです。それは条例案(協働に関する条例、自治基本条例など)を作ることだ。条例案の作成を最終目標として今から進めようという意見がありました。

まずは何を目指すのか、委員の中でしっかり共有しておくことが必要です。

#### (委員の主な意見)

市民が協働の理念を共有しないと机上の空論になってしまう。市民に対して協働の意味合いを伝えていく必要がある。

NPO・ボランティアガイドブックに掲載されている団体に呼びかけて、協働についてディスカッションしてみてもどうか。どの問題はあの団体と協働していくことができるというようなことも見えてくるのではないかと。

協働のルールや指針、条例を作っただけではいけない。市民活動を活発にしていく方策まで検討していくことが必要である。

協働を広く市民にPRをする活動、市民活動を盛んにする活動をしていきたい。  
協働のルール、指針を議論していくという目標は明確になっている。先のことはこれを議論しながら考えていくべきである。

市民協働のまちづくりは身近な問題なので市民みんなに知ってもらいたいし、考えてほしい。

ごみ・環境問題の例でいくと、環境基本条例ができて審議会をつくって継続的に行っている。まちづくりでもこのように継続させていきたい。